

特定非営利活動法人

さわやか北摂つうしん

編集発行:さわやか北摂広報部 川西市水明台 1-2-49 TEL 072-792-3532

介護報酬改定へ 市民の思い

平成30年春に行われる三年に一度の介護報酬改定。その内容が概ね明らかになった。今回は大幅な減額はなく、ひとまず胸をなでおろしたところだが、相変わらずホームヘルプへの評価が低く、納得がいかない思いがある。

この冬はインフルエンザの患者数が過去最悪だったと報道され、さわやか北摂周辺でもインフルエンザにかかってしまった方が複数おられた。介護が必要な利用者さんがかかってしまった場合、ショートステイやデイサービスでは集団予防の観点から利用を断られるため、頼りになるのはホームヘルパーさん達。本人さんの食事・排泄・服薬の介助はもちろん、検温ほか身体状況の確認、汚れ物の洗濯、室温調整や戸締り、はたまた郵便物の受け取りまで。こと細かく次のヘルパーに伝えて行く。雪の中でも歩いて訪問し、自らも感染するかもしれないリスクを負いながら懸命に介護にあたるヘルパーさん達には本当に頭が下がる。

訪問介護の生活援助を無資格者でも担えるように人材を広げる動きがある。それはそれで結構なことだが、プロ意識を持って取り組んでいる有資格者のモチベーションを下げるような改革には再検討願いたい。

今回の改訂では「地域共生型サービス」という新しいサービスが始まる。障がい者が高齢になっても今までと同様のサービスが受けられるように柔軟に対応するという取り組みのようだ。これまでの法律では「介護保険法」や「障害福祉法」始め「児童福祉法」「老人福祉法」と対象を年齢で区切ってしまう、いわゆる縦割りだったため、障がい福祉サービスを利用していた方が65歳を迎えた途端介護保険に移行させられ、不利益が生じていたケースが少なからずあった。これを機に少しでも解消されるよう望んでやまない。

2月7日、国は「入院より在宅」を加速させる方針を決めた。診療報酬も改訂されるが多くの在宅者を一体誰が支えるのだろうか。看護職のみならず、介護職の人員不足はもっと深刻である。現場に目を向けるのが先ではないだろうか。

改定のたびについ一喜一憂してしまうが、大切なことはいつも創立以来の「助けあいの心」。忘れてはいけないと自分に言い聞かせている。地域の皆さんが少しでも笑顔になって日々を過ごせるようお手伝いさせていただくこと、そんな素晴らしい仕事を与えられたことに感謝し、今年も精一杯努めて行きたい。

(野村 貴美子)



則久 昭代 画

福祉ネットワーク会議に出席

ー グリーンハイツ地区福祉委員会の第4次福祉計画案を検討 ー

グリーンハイツは市内でもトップクラスの高齢化率の為、自治会やコミュニティなどと連携して様々な福祉サービスに取り組んできました。更に、「地域に根付いた福祉の街づくり」をテーマに4つの重点事業をかがげて夫々を掘り下げようとされています。

1. 居場所・つながりの更なる充実をめざす
2. 高齢者のくらし・認知症があっても地域で暮らせる生活
3. 成年後見制度の理解を深めて広がる努力をする
4. 福祉の人材育成の大切さを各地でPRし、きっかけづくりに結びつける

自治会の地区福祉委員長及び「NPO 法人成年後見センター・川西」理事長の岡やすえ氏を中心に、29年度は3回のワークショップを開き、意見集約にこぎつけられました。いよいよ「地域の財産」を大切に動かしながら方向を見定め、目的に向かって進まれることでしょうか。みんなの協力が何より大切なことは云うまでもありません。

『地域包括ケア取り組み促進を願って』

♡ さわやか福祉財団・堀田力氏講演会 in 徳島市 ♡



全国を巡って市民の助け合い活動を広げる為の講演会をすでに100カ所で行い、集大成を目指しておられる堀田力氏。徳島市での会場は熱心に聞きいる人、市長さんの巧みなリードで大会場も和やかに進行しました。

さわやか北摂は設立後早い時期から取り組んでいます。今回、国をあげての地方へ振られた事業の目的を確かめる為、高田・久恒は徳島へ出向きました。都市部、地方の町村部など、その地

に合った取り組み事例を堀田氏の講演から聞き、改めて原点を見つめ直したことでした。2025年問題のみではなく、高齢化のハイスピードに負けない取り組みの必要性。おだやかでユーモア溢れる堀田力氏のお話を聞き、素晴らしい人生の生きざまに心打たれました。ご活躍を心から願って帰路についたいち日でした。

お知らせ

3月25日(日)多田トラ市に参加します。募金用チャリティバザーにご来場下さい。

助けあい活動にご協力を!!

- 定年退職後に何か・・・とお考えの方、一度ちょっとお立ちより下さいませんか(男女)
- 得意なことを優先して、週に1時間でも
 - お手伝いする度によろこばれます
 - 有償サービスです

民活力を磨いて社会貢献を推進

2018 NEW YEAR MESSAGE

健康福祉情報新聞

<2018年(平成30年)1月号>



地域に根ざす事業と社会貢献

特定非営利活動法人 さわやか北摂

執行理事 久恒 千里

新年が明るい年であり、ますように、と願っておりますが、介護業界の今後は不安がいっぱい渦巻いております。

昨年暮れに書類整理をして、20年前に紹介された記事が出てきました。東京のさわやか福祉財団月刊誌「さあ言おう」に掲載されたものでした。

お金も物も無いが、熱意だけで設立し、試行錯誤の連続でしたが、31人でスタートしましたが、3年弱で371人となり、活動時間も月平均500〜600時間。それでも差ぎ缶集めや雑居ビル掃除などして続ける努力をした日々。

その記事の最後には、活動を通して「人の財産を得られた事が何よりの

喜びとありました。以来23年を経た現在はスタッフも会員も増えましたが、設立時と変わらぬ想いで続けてきて、地域に根差した団体となっております。

昨年9月に思いがけない読売新聞の取材を受けました「支えあい事業活況・昨年度一萬三千件」と掲載され、阪神間の心ある方々の訪問も受けました。

しかし、たすけあい部門は当団体でも常に赤字部門であり、介護事業で穴埋めをしている現状、深刻な人手不足からお勧めにくいことでした。国の方針としては介護に関する事業の財政改革を次々進めています、小手先の改善策ではなく、安心して老後を通せる社会を願うばかりです。

「遺産で社会貢献・遺贈が静かなブーム」と最近の新聞にありました。しかし、タナボタを当てる前に、まずは役割を果たす事業に専念したいものです。

NPOのもう一つの柱、社会貢献活動として東日本大震災後6年9ヶ月の間に、日本財団を通して190万円を各被災地に贈ることが出来ました。今後も続けたいチャリティ事業の一つです。坂村真氏の詩にあるように「二度とない人生だから・・・できるだけのことをしよう」。ともあれ23年間続けられたのは数えきれない人々の、お金では買えない真心と慈愛を溢れる程頂いたおかげです。心から感謝申し上げます。

ありがとうございました。

「市職員の街づくり研修」で来所

昨年からはまった「参画と協働の街づくり研修」生として若い男性職員さんが、11月15日と16日の2日間来て下さいました。NPOや市内の団体での現場体験です。

1日目は助け合いの大ゴミ掃除やヘルパーと同行してもらったり、移動サービスを見学したり。日く『家に入ってお世話するには信頼関係がないと出来ないこと。ヘルパーさんは凄いなと思いました』の感想です。

2日目はデイサービス。昨日より少し緊張がとけてお年寄りと一緒に食べたり。29歳独身です!!の自己紹介を聞いて、皆さんの目がハートになりました(〇)。握手のお別れに涙ぐむ人々が続出。中央図書館の職場見学にいきいたいなあ、と目下思案中です。色々な方々にお世話になりました。来年もおまちしていま〜す。



イベント いろいろ



小笠原流初煎会のお点前

例年恒例行事となっている岡田八郎ご夫妻によるお煎茶道初煎会がありました。正しい作法で飲み方やお菓子の食べ方など教わり、礼に始まり礼に終わる、と。昔を思い出した人や、お正月がもう1度きたわ!とか楽しくて身の引きしまるひと時でした。



タクボンとスナオ君のタンバリン演奏

こんちくは!と愛嬌たっぷりに入場するスナオ君ですが、今日はタクボン夫妻のタンバリン演奏の日。全員がタンバリンを持ち、音楽に合わせてバンバンパン! リズミカルで楽しい時間でした。スナオ君も目をパチクリ! またねえ~



詩吟発表会

毎月1回デイ2階の居場所で練習を重ねているグループの年1回の発表会です。田村龍司氏を中心に詩吟の同好者は増え続けています。



フリー刺しゅう 同好会

まるで写真をとったような繊細な刺しゅうがあったり、川口先生による四季飾りのきれいなタペストリーも作って頂き、エレベーター前がひとときわ目立ちます。



世界一コンビのギターコンサート

ドン・ロス(カナダ人) & 前澤勝典・30年の友情記念コンサートが、市役所1階ロビーで行われました。さわやかなの会員さん始め、多くの市民が詰めかけ、夕方のひと時は熱気あふれる会場となりました。アコースティックギターがたいこのような音に聞こえたり、南米のリズムかと思えたりしました。

世界ナンバーワンに2度も輝いたドン・ロスさんの太い腕から奏でる音は、市役所内に響き渡りました。ドン・ロスさんは、その後すぐ上海やヨーロッパに向けて2週間の演奏会に出向かれたとか。正に世界を翔ける演奏家でした。

デイサービス いろいろ



岡田美貴子さんのピアノリサイタル

プロピアニストを迎えて素晴らしいクリスマスコンサートになりました。バッハからはじまるクラシック音楽からスタートして、外国の楽しいポップスまで力強い演奏にうっとり。電子ピアノではお気の毒でした。



フラダンス ラブリーフラ ラウレア

♪ウクレレを持って唄いながらの登場です。フラダンスの冬バージョンもあるそうで、皆さん大よろこびで優雅なダンスと共に握手せめにあいました。アロ〜ハ♪



ババロアトリオ クリスマスコンサート

歌を唄うのが大好きでお上手な人が一杯のさわやかデイ。今年の唄いおさめで、歌って踊ってメリークリスマス!!



オカリナ演奏会

さわやか北摂の応援歌を20年前に作って下さり、今も折に触れて唄い続けている「さわやかさん」に始まり、懐かしい童謡や唱歌。ひなまつりまでやさしい音色にいやされました。



♪ ハーモニカ演奏と唄の沢田さん ♪

沢田武司さんのハーモニカ演奏を聞いたスタッフが、音色に引かれて、ぜひさわやかでもお願い!と相成り、以後来ていただいている。沢田氏が美声の持ち主とわかり、歌手にも変身したり楽しい時間がすぎています。



お鍋屋食 目先を変えてアツアツおでん

テーブルの真中の土鍋を囲んでフーフーしながら食べました。もちろん自家製野菜です。またやって〜の声多く。

会員の家族から

住民座談会に参加して

「自分や家族が認知症になっても安心して暮らせる仕組みを一緒に考える」というテーマで二回に渡って行われた住民座談会に介護家族として出席させていただきました。各自が提出した案に基づき、具体化のための話し合いが行われました。ただ、認知症は進行状況で症状が様々であり、その対応のための仕組み作りには時間を要すると私は思います。提出された案の中に「困った人を助ける体制作り」がありました。自分が認知症を発症した場合に世話になることを考え、住民同士が互いに助け合い、協力する意識を広めることが大切と私は思います。これについては「さわやか北摂」の「たすけあい活動」はその役目を果たしていると思います。

また介護が必要な場合、介護施設の存在は大きいと思います。私の妻は6年余前からデイサービスやショートステイでお世話になっており、楽しく過ごしております。要するにそれなりの人生を楽しめる事が可能な仕組み作りが今後もずっと必要ではないかと私は思っています。(K, K)

助けあいサービスの現場から

ユニークな「たすけあいサービス」のご紹介<第三弾> 自画自賛の左官作業

会員様から家屋の土台の化粧コンクリートがはがれているので、補修してもらえないかのご相談がありました。駐車場の白線引き、縁石のフラット化、石垣の目詰め等々の日曜大工は多少の自信がありましたが、流石、土台の化粧コンクリートの補修は…。一度下見をし、他の活動者の意見も貰い、左官道具は手造りで、材料はホームセンターで調達し、いざ作業開始。

出来栄は、本職とはいかないまでも助けあいサービスとして提供できる、ますますの出来栄に仕上げ、会員様にも納得していただきました。後日他のサービスでお伺いするたびに経過を見ていますが、剥がれもなくきれいな状態を保っています。今回の依頼作業で、活動者としての範囲が広がり、会員様にも喜んでもらえる楽しい活動でした。(I.H)

さわやか北摂は多くの人々のご協力に支えられています

医療法人協和会

会長 木曾 賢造

川西市中央町 ☎ 072-758-7223

医療法人 おおたに歯科医院

院長 應谷 茂

川西市湯山台 ☎ 072-792-1627

<さわやか北摂のご支援者・応援団>

花岡緋芙美様 上野 瞳様 藤原 昌様 佐野隆二郎様 御旅屋千寿代様 藤原 桂様
上殿希世子様 梶原幸一様 岡崎信一・民子様 久恒彩子様 熊田孝子様 馬淵英男様
グレイグウズ様 岡田八郎・久美子様 二森光雄様 山田澄子様 樋口安子様
福田 睦様 田村龍司様 草野静子様 小林登紀恵様 田中久美子様 守屋栄子様
竹内和子様 西田紘子様 中谷雄吉様 今田博隆様 板井繁典様

振り込めサギにご注意 !!

★★ 川西警察から出張講演 ★★

兵庫県下で特に被害の多い阪神北地区の内、川西、伊丹、宝塚は危険度トップ3とか。ねらわれやすい高齢者の為に、巡査部長から各種事例を紹介して頂きました。恐ろしいやらびっくりするやら。次々と新しい手口で巧妙にしのびよる魔の手。卑劣なサギ師にとらわれないよう、懸命に聞き入りました。お持ちいただいたパンフレットを目立つ所に貼り、気をつけましょう！と。近頃は手渡し型サギが急増しているとか。すぐに対応せず必ず家族に相談して下さいとの事でした。

電話に取り付けるとサギ予防の音声が出る器具を、近いうちに貸して下さる予定で、独居高齢者は心待ちにしています。



<ヘルパー研修会>

◆◇ 成年後見制度を知って広めよう ◇◇

平成 29 年度第 4 回ヘルパー定例会（平成 30 年 1 月 26 日）を事務所の会議室で開催しました。成年後見制度の概要について NPO 法人「成年後見センター・川西」理事長 岡やすえ氏にお越しいただき、制度の概要を講義していただきました。判断能力が衰えた時に財産の管理をどうするのか、奥深く大切な制度であり、短時間ではとても伺い切れませんでした。この制度があることを知っているだけでも、高齢者や独居の方に向き

合う介護職として役に立つのではないかと思います。

当日は、明峰地区、大和地区の福祉委員、植杉氏、岩井氏にもご同席頂き、地域のご様子を伺いました。（サービス提供責任者 美濃 由美子）



さわやか北摂の基本理念10箇条

1. 法令を遵守します
2. 個人の尊厳を尊重します
3. 利用者本位、自己決定を尊重します
4. 個人情報保護をします
5. プライバシーを保護します
6. 身体拘束を排除します
7. 虐待を排除します
8. 質の高いサービスを提供します
9. 地域福祉と積極的に連携します
10. 地域福祉の推進に努めます



節分豆まき 鬼は〜そと !!
ドライバーさん扮する赤鬼青鬼さん
めがけて大きな豆が飛びかいます。
タスケテ〜 イタイヨ!

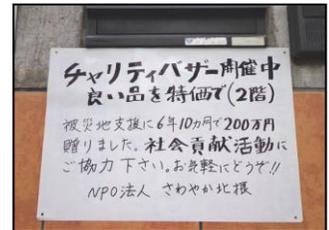
活動実績

	たすけあい活動 (件)	訪問介護 (件)	障がい者支援 (件)	水明台デイ (延べ人数)
H29. 9月	1064	1165	538	362
10月	990	1229	521	350
11月	1069	1172	509	358
H30. 1月	808	1105	484	343

震災支援金のご報告 No. 6

贈呈本『残心』(笹川陽平 著)の紹介

東日本大震災からおおよそ7年。次々と各地で災害は発生しています。29年1月から、(公財)日本財団は「災害復興支援特別基金」として引き続き支援体制を続けておられます。私達はNPOとして少しでもお役に立ちたいとチャリティバザーとネット販売で資金集めをしています。チリも積もれば山となる!です。



事務所前の看板



昨年12月に日本財団様からお礼状と共に笹川陽平会長が出版された400ページに渡る立派な著書「残心」の贈呈を受けました。父君良一氏から受け継いでこられた75年間の総決算として出されたものです。世界のハンセン病の制圧と差別の撤廃に精力を注ぎつづけ、今尚世界と日本のすべての災害に目と力を使われる笹川陽平氏に心から尊敬と感謝を申し上げます。(久恒 千里)

チャリティバザーで被災地支援を!

沢山の良品が超安価で手に入ります。全額を被災地に送っています。7年弱で200万円。ぜひお立ち寄り下さい。

NPO法人さわやか北摂(さわやかデイ内2階)

月・火・金 10時~15時

川西市水明台1-2-61(072-767-6215)

担当・久恒(ひさつね)



あさひ ぶんぶん 2月4日号から

募集!

- ★ デイサービス・ドライバー
8:30 ~ 9:30
16:30 ~ 17:30
有償 週1回から可
- 男女訪問ヘルパー
週1回、1時間から可
- ★ たすけあい活動者 男女
有償 週1回、1時間から可

表紙画が変わりました

前号まで7年間も画いて頂いた福武知子さんから則久昭代さんにバトンが渡りました。つうしんの一面をふんわり包んで下さる大切な場所です。今までの多くの方々への感謝と共に今後共どうぞよろしくお願い致します。